

財政状況のお知らせ

平成26年度の決算状況と健全化判断比率及び資金不足比率の公表

平成27年町議会第3回定例会が、9月8日から16日まで開催されました。平成26年度の一般会計をはじめとする各会計の決算状況が審査され、決算が認定されました。

町の会計の基本である一般会計の決算額は、歳入が87億8千997万円、歳出が82億958万円となったほか、国民健康保険特別会計など六つの特別会計と水道事業会計を合わせた総額では、歳入が154億円、歳出が147億円になりました。

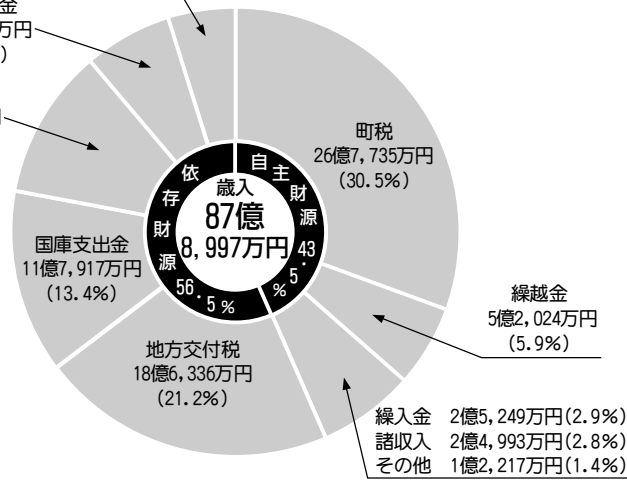
また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき平成26年度決算の健全化判断比率・資金不足比率が報告され、いずれも定められた基準内に収まり、町の財政は健全な状態であると認められました。

※本文および図表などは、千の位を四捨五入しています。合計において数値に若干の誤差が生じることがあります。

一般会計

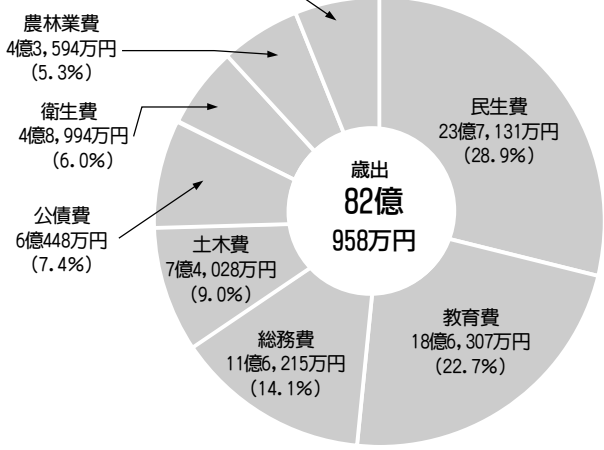
歳入決算額の内訳

地方消費税交付金 2億3,063万円(2.6%)
 地方譲与税 1億4,310万円(1.6%)
 その他 5,661万円(0.7%)



歳出決算額の内訳

消防費 3億7,404万円(4.6%)
 議会費 1億865万円(1.3%)
 その他 5,972万円(0.7%)



特別会計

特別会計の決算状況

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	31億7,263万円	30億8,445万円
後期高齢者医療	1億6,622万円	1億6,274万円
介護保険	15億9,540万円	15億4,035万円
中央土地区画	2億9,531万円	2億3,339万円
農業集落排水	5億2,798万円	5億2,373万円
下水道	3億9,400万円	3億8,495万円

水道事業会計の決算状況

区分	収入決算額	支出決算額
収益的会計	4億8,033万円	4億5,831万円
資本的会計	0円	1億3,710万円

決算用語解説

- 一般会計…福祉や教育、消防など住民に広く行われる事業における歳入・歳出の会計。
- 特別会計…町が特定の事業をおこなう場合、一般の歳入歳出と区分して経理する会計。
- 自主財源…町税や町の施設の使用料など、町が独自で調達するお金。
- 依存財源…地方交付税や国・県支出金など、国や県から町に入ってくるお金。

健全化判断比率および資金不足比率

八千代町の健全化判断比率

	八千代町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.91%	20.00%
連結実質赤字比率	-	19.91%	30.00%
実質公債費比率	11.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	70.8%	350.0%	-

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」と表示しています。

八千代町会計別資金不足比率

	水道	下水道	農業集落排水	中央土地区画
資金不足比率	-	-	-	-
経営健全化基準	20.0%			

※資金不足額がないため、資金不足比率は「-」と表示しています。